

【刊夕】日二十月五



鯉の来游は下旬頃

本縣沖の海洋状態

磐城丸も近く探漁に出航

當業船の出揃は廿日頃か

鯉漁は目下静岡沖四、五百出航することになった。海里が漁場なので本縣沖への来游は水温の分布状態その他潮流が急變しない限り、本月下旬頃かと思われ遠征中の江名町。

盛厚丸も未だ大し

た漁事を上げてゐない船體及び機関の大修理中であるを上げてゐるので六月月上旬頃縣水試船警備丸は愈々竣工するので来る十四、五日頃獲あるものと豫想されてゐる。海洋観測と漁場調査の爲め。

其筋でも重大視す

轢殺逃走の自動車

残る證據を精査したが

平署管の物でなさそう

昨報石城郡内郷村地内の國に檢査されず隣縣各署に互道に乞食を轢逃げしたる自つて捜査を進めてゐる事件。死せしめて行方を晦ました。罪を決して輕からずとなし。且つ向後斯の如き。

事件を

敢行されるものとせば重大事である爲るが自動車であることは確實で、平署では全力を擧げて犯罪であつて雨後の路上に遺人逮捕に盡してゐるが未だ死者の轢摺られた現況及

休日 日曜大祭日
月曜 廿五日
火曜 廿六日
水曜 廿七日
木曜 廿八日
金曜 廿九日
土曜 三十日

移動展覽

平町へは來 十四日午後

自動車王フオード會社の移動展覽會は各地に好評を博し、平町へは來る十四日午後三時到着の筈で、乗用及びトラックを初め消防車並に撤水車その他同社製造の各種三十臺の一隊が町内隅なく一巡の後共濟病院脇の廣場に駐屯し、當夜同所に於て自動車に關する活動寫眞を映寫一般の觀覽に供する由であるが右自動車の中に右轢逃げ自動車若し他奏する音楽もあると。

想像に

も及ばぬ人の美譽に感した賢員は何故の現境過であるかを質したけれども郷里は普通の町家であつたと語るのみで全家死亡後頼る所ない病氣の身を他の情けにすがつてゐるものと云はれたが同人の止直には聞く者みな感に打たれてゐる。

平町本年の

檢丁成績

甲種五十七名

石城郡に於ける本年度壯丁檢査のうち平町居住適令者二五〇名(本籍一八九、入寄留六一)に對する檢査は去る八九の兩日執行されたが在學中又は病氣の故を以て不參せるものを除く一七七名の檢丁成績を示せば

甲種五七、第一乙二三、第二乙五八、丙種五一、丁種八

上づる華美に

憧がれて

十七娘斷髮

して家出す

石城郡内郷村大字宮字竹の内六二長谷川さく長女千代子(一七)は三年前より華やかなレヴィウ團の花形に憧れてゐたが九日午後一時頃藤原村の隙をうかづつて斷髮し、現現金廿五圓を持ち出し附近の友達某と連れ立ち家出したので家人から搜索四月本縣巡査を拜命し四十害は無い模様である。

今朝の

地震

震源請戸沖

今朝三時頃中地方に強震あり、曉の夢をどろかした。石について小名濱測候所の觀測によれば

發震午前三時廿六分震動繼續時間五分、最大震幅一、四、性質稍々急。屬するもので震源地は双葉郡請戸の沖合とみられ被害は無い模様である。

模様に

よつて平町から湯本方面に向ふ疾走車であることを認められ、兩側に二線を置き中央に丸い印を遺すタイヤの跡は同署管内の

乗用車

等を使用されてゐるダンプ及びピルター類のものではなく、時を映寫一般の觀覽に供する由であるが右自動車の中に右轢逃げ自動車若し他奏する音楽もあると。

赤面す

常人も

美譽

拾ふ大金を届出

上小川地内で金卅圓

謝金を受けて立去る

取混ぜ

た右の現金

ある之れより先き此の遺失主耶摩郡苗代町海産問屋遠藤米松から届出があつたので苗代署へ照會するとそれに相違ないと判り前記元治は三圓の謝金を受け立ち去つたが

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

職業紹介所の

事務調査

昨十一日平町と入山探炭を

平町職業紹介所の經理並に事務に關する調査は昨十一日青森地方職業紹介事務局、日酒井勇、喜多山光三、兩氏出張して午前中に完了し成績良好なるを賞されたが、兩氏は午後神倉所員の案内で湯本町入山探炭に於ける同様事務の調査を行つた。

職業紹介所の

事務調査

昨十一日平町と入山探炭を

平町職業紹介所の經理並に事務に關する調査は昨十一日青森地方職業紹介事務局、日酒井勇、喜多山光三、兩氏出張して午前中に完了し成績良好なるを賞されたが、兩氏は午後神倉所員の案内で湯本町入山探炭に於ける同様事務の調査を行つた。

國調委員に

記念品

十一日平町に於て

平町では昨年十月の國勢調査に於ける委員卅九名並に職員及び關係事務者十一名合計五十名に對し、十一日午後二時町會議事室にて伏見町長から感謝状を添へて記念品(南都鐵道)の贈呈式を擧げ終つて一同記念撮影の後簡素な慰勞宴を開き、四時散會した。

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

和春軟風

(八)

滿壽莊主人

蝶一つ愛らし二つおもく

あたりまへの句であるが其調の輕妙さを味へかしして見ませう

瓜菜

華人瓜栽培 (九)

本縣農試 石城分場 矢ヶ崎技手
此の摘心の若芽は茹で、浸物として食することが出来る、餘り美味ではないが普通には味ふことが出来る。華人瓜は乾燥を忌むものであるから夏期には株の地際周囲に敷藁又は敷草をしなければならぬ。特に注意することは夏の乾燥に朝夕多量の水を株の周囲に灌ぐことである。

華人瓜の根は地表に近く蔓延するものであるから根元の附近には餘り立入らないことも重要な注意の点である。秋期稍々冷気を感ずる頃になると華人瓜は結願發育をなすものである。住々收穫間近に霜害を被る恐れがある、殊に白色種の様な晩生のものは被害される樹念が多い、故に寒気を覚ゆる收穫間近になつたら夕刻から朝まで棚の下に簾の様なものを覆ふて之れを防がなければならぬ。

次に華人瓜の病虫害であるが華人瓜には今の處西瓜や南瓜及び甜瓜等の如く餘り多くの病氣や害虫もない様であるが恐ろしいのは瓜守の被害である。夏期に瓜守の飛來を受けると葉を食害されて發育が非常に減退するものであるからこの預防驅除を忘れてはならない。

萩原齒科醫院

萩原義雄
平町南町
電話二二五九

ガソリン
モビール油
日本石油
株式會社

特約販賣
關内商店

支郡山市 驛前大通
支茨城縣 關本驛前
支油槽所 平町四丁目
支郵便局前



平町
藤沼醫院
電話七〇五番

春帽とワイシャツ

モリタヤ洋品店
平五丁目電三五三番

婦人洋傘
通學用雨マント
雨洋傘
取揃ました

債券、公債、兩替金融

多田井質店

平町大工町
電話五九一番

貸切は？

親しみあるサービスを
以つて知られたる!!

尼子タクシー

電六四〇番
主任澤正路

ライト

寫真館

平町播磨小路
電話五三五番



入院應需

明雲堂眼科醫院

平驛前(電話六六九番)

自炊の便あり

煙突は 朝日
石綿セメント製
朝日煙突
経済的で
火災の心配がない
金屋商店

醫院開業

私儀今般左記場所到医院を開業一般
診察に従事致すべく候
平町新川端(金屋新宅向)

難波醫院

内科一般
午前宅診(午前九時より)
午後往診
但し急患は此限りに非ず

醫學博士 難波睦
電話五〇二番



破格の勉を致します

新専属 新平町南町
新陽舎 新平町南町
新きわい 新平町南町
新聞社 新平町南町

磐城病院案内

本病院は時局に鑑み入院
科並に往診料左の通り低
減致候間御参考迄申上候

入院料 一般 金貳圓也
往診料 限り、一般金三圓也
平町本會員金二圓也

各科 内科 小兒科
皮膚泌尿科
整形外科

×光線科 (物理學的診療科)
院長 醫學博士 石山謙郎
本院主管 賀澤忠治

本院 救療を申込る、方は當
本院内 相談所へ御話し下さい
本院 救療所(電話六四二番)

本院 救療所(電話六四二番)
本院 救療所(電話六四二番)
本院 救療所(電話六四二番)

表代城磐
酒銘
味経味美
油醬ルマヤ
社會名合崎山
電話十番

外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町、電話五二三番
院長 醫學士 高久忠